

平成27年度 NGSハンズオン講習会 Python (7月28日) 講義資料

資料名	ファイル名
講義資料	Python入門(PDF:3.64MB)
Python Documentation contents	http://docs.python.jp/3/contents.html
Biopython	http://biopython.org/wiki/Main_Page
codeacademy	https://www.codecademy.com/ja

○講義メモ

UをTに変換するような場合に、小文字を入力しても認識してくれるようにしたいときは、`.upper()`や`.lower()`をつけるとよい。

Python3だとBioLinux8にBioモジュールがデフォルトでインストールされていない。

vi講座。コマンドモードで:を押して「set nu」で左側に行番号をつけることができる。

undo, redoは「u」「CTRL + r」。
CTRL + uでアップ、CTRL + dでダウン。
^は行の最初、\$は行の最後 (TAより情報提供)。
:w test2.txtでファイル名を指定して保存。上書き保存の場合は、:wのみでよい。
:wqが保存して終了。
ZZでも上書き保存可能。
:q!で保存せずに強制終了できる。
CTRL + vで矩形選択モード。
:%s/nuc/aa/gcで、一つ一つ見ながらy or nで置換していくことができる。
コマンドモードでvでビジュアルモード。
これで任意の範囲を選択できる。
好きな場所でpを押す。
:%s/\$/;/で行末に一括で;/を挿入。
:set encoding=Shift-JISでエンコーディングを設定。
:set enc?で確認。
:sav test4で保存した後、それを開くことができる。